

アルトキハ一ノ會計又ハ勘定ニ屬スル特定ノ經費又ハ收入ヲ勅令ノ定ムル所ニ依リ他ノ會計又ハ勘定ニ屬セシムルコトヲ得前項ノ規定ニ依リタル場合ニ於テハ豫算ノ定ムル所ニ依リ當該會計又ハ勘定間ニ於テ必要ナル收支ノ調整ヲ爲スモノトス

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大東亞戰爭終了ノ際ニ於テ必要ナル經過規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

一 軍需省官制

一 企業整備本部官制

一 奏任ノ軍需省部長等ノ特別任用

ニ關スル件

右謹テ上奏シ恭シク

聖裁ヲ仰キ併セテ樞密院ノ議ニ付セ

ラレムコトヲ請フ

昭和十八年十月十八日

内閣總理大臣東條 英機

軍需省官制

第一條 軍需大臣ハ左ノ事務ヲ管理ス

- 一 國家總動員ノ基本ニ關スル事項
- 二 鐵工業一般ニ關スル事項
- 三 鐵產物及工業品（鐵道車輛、鐵道信號保安裝置、船舶、船舶用品、纖維工業品及主トシテ國民生活ノ用ニ供スル其
ノ他ノ工業品ヲ除ク以下所管物資ト總稱ス）ノ生産、配給
及消費並ニ價格ニ關スル事項
- 四 主要軍需品ノ原料及材料並ニ特定軍需品ノ生産管理、發
注及調辦ニ關スル事項

軍需省官制

第一條 軍需大臣ハ左ノ事務ヲ管理ス

一 國家總動員ノ基本ニ關スル事項

二 鐵工業一般ニ關スル事項

三 鐵產物及工業品（鐵道車輛、鐵道信號保安裝置、船舶、船舶用品、鐵維工業品及主トシテ國民生活ノ用ニ供スル其他ノ工業品ヲ除ク以下所管物資ト總稱ス）ノ生産、配給及消費並ニ價格ニ關スル事項

四 主要軍需品ノ原料及材料並ニ特定軍需品ノ生産管理、發注及調辨ニ關スル事項

軍需省官制

第一條 軍需大臣ハ左ノ專務ヲ管理ス

一 國家總動員ノ基本ニ關スル事項

二 鐵工業一般ニ關スル事項

三 鐵產物及工業品（鐵道車輛、鐵道信號保安裝置、船舶、船舶用品、鐵維工業品及主トシテ國民生活ノ用ニ供スル其
ノ他ノ工業品ヲ除ク以下所管物資ト總稱ス）ノ生産、配給
及消費並ニ價格ニ關スル事項

四 主要軍需品ノ原料及材料並ニ特定軍需品ノ生産管理、發
注及調辨ニ關スル事項

五 民間工場ノ利用及設備經營ノ指導ノ軍需上必要ナル統制ニ關スル事項

六 所管物資又ハ電力ノ生産又ハ配給ヲ目的トスル企業（他ノ目的ノ企業ヲ兼營スル場合ニ於テハ當該部分ニ限ル以下所管企業ト稱ス）ニ於ケル勤勞管理、賃金、資金調整（資金ノ潤滑ニ關スルモノヲ除ク）及經理統制（増配ニ關スルモノヲ除ク）ニ關スル事項

七 電氣及發電水力ニ關スル事項
八 アルコール及石油ノ專賣ニ關スル事項

軍需大臣ハ前項第一號ニ掲グル事務ヲ行フニ付必要アルトキハ關係各廳ニ對シ資料ノ提出又ハ説明ヲ求ムルコトヲ得

第二條 軍需省ニ左ノ一總局及八局ヲ置ク

總動員局

航空兵器總局

機械局

鐵鋼局

輕金屬局

非鐵金屬局

化學局

燃料局

電力局

局中局務ヲ分掌スル爲軍需大臣ノ定ムル所ニ依リ部又ハ部及

課ヲ置クコトヲ得

航空兵器總局ニ長官官房並ニ總務局、第一局、第二局、第三局及第四局ヲ置ク

第三條 總動員局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 物資動員計畫、生産擴充計畫及電力動員計畫ノ總括其ノ他國家總動員ノ基本ニ關スル事項
- 二 所管行政ノ考査一般ニ關スル事項
- 三 礦工業一般ニ關スル事項
- 四 所管物資ノ價格一般ニ關スル事項
- 五 統計一般ニ關スル事項

六 主要軍需品ノ原料及材料並ニ特定軍需品ノ生産管理ノ爲メニ注及費辦ノ綜合調整ニ關スル事項

七 民間工場ノ利用及設備經營ノ指導ノ軍需上必要ナル統制ノ綜合調整ニ關スル事項

八 所管企業ニ於ケル勤務管理、賃金、資金調整及經理統制ニ關スル事項

九 所管防衛業務ノ總括ニ關スル事項

十 他ノ主管ニ關セザル事項

第四條 航空兵器總局ニ於テハ航空機及其ノ關聯兵器器材等ニ關スル事務（此等ノ物資ノ調辦及之ニ伴フ事務ヲ含ム）ヲ掌ル

第五條 機械局ニ於テハ機械器具（航空兵器總局ノ主管ニ關ス

ルモノヲ除クニ關スル事務ヲ掌ル

第六條 鐵鋼局ニ於テハ鐵鋼ニ關スル事務ヲ掌ル

第七條 輕金屬局ニ於テハ輕金屬ニ關スル事務ヲ掌ル

第八條 非鐵金屬局ニ於テハ非鐵金屬及鑛山一般ニ關スル事務ヲ掌ル

第九條

化學局ニ於テハ化學工業品ニ關スル事務（工業鹽及粗製樟腦ノ配給及消費ニ關スル事務ヲ含ミ化學肥料ノ生産數量、配給及消費ニ關スル事務ヲ除ク）ヲ掌ル

第十條 燃料局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 燃料ニ關スル事項

二 ガス及コークスニ關スル事項

三 アルコール及石油ノ消費ニ關スル事項

第十一條 電力局ニ於テハ電氣及發電水力ニ關スル事務ヲ掌ル

第十二條 軍需省ニ軍需官ヲ置ク勅任又ハ奏任トス上官ノ命ヲ承ケ軍需省ノ事務ヲ掌ル

第十三條 軍需省ニ軍需事務官及軍需理事官ヲ置ク奏任トス上官ノ命ヲ承ケ軍需省ノ事務ヲ掌ル

第十四條 部長、軍需官、軍需書記官及軍需事務官ハ通ジテ專任九十七人ヲ以テ定員トス但シ勅任タル部長及軍需官ハ通ジテ專任五人以内トス

軍需理事官ハ專任十四人ヲ以テ定員トス

第十五條 軍需省ニ統計官專任二人ヲ置ク奏任トス上官ノ命ヲ

承ケ續工統計ヲ掌ル

第十六條 軍需省ニ軍需技監專任一人ヲ置ク勅任トス上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌理ス

第十七條 軍需省ニ軍需技師專任百七人ヲ置ク奏任トス但シ内三人ヲ勅任ト爲スコトヲ得上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第十八條 軍需省ニ軍需官補ヲ置ク判任トス上官ノ指揮ヲ承ケ軍需官ノ事務ヲ助ス

第十九條 軍需官補及軍需屬ハ通ジテ專任五百十八人ヲ以テ定員トス

第二十條 軍需省ニ統計官補專任八人ヲ置ク判任トス上官ノ指揮ヲ承ケ續工統計ニ從事ス

第二十一條 軍需省ニ軍需技師專任三百十九人ヲ置ク判任トス上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス

第二十二條 第十二條乃至前條ノ職員ノ外軍需大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官ノ中ヨリ内閣ニ於テ事務官ヲ命ズルコトヲ得

第二十三條 軍需省ニ參與ヲ置キ省務ニ參與セシム

參與ハ軍需大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳勅任官及學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

參與ハ其ノ職務ニ關シ知得シタル秘密ヲ嚴守スベシ

第二十四條 軍需省ニ専門委員ヲ置キ専門ノ事項ヲ調査セシム
専門委員ハ軍需大臣ノ奏請ニ依リ學識經驗アル者ノ中ヨリ内

閣ニ於テ之ヲ命ズ

専門委員ハ其ノ職務ニ關シ知得シタル秘密ヲ嚴守スベシ

第二十五條 特定軍需品ニ關スル軍事上必要ナル事項ニ付テハ

航空兵器總局長官及燃料局長ハ陸軍大臣及海軍大臣ノ指揮監

督ヲモ承クルモノトス

第二十六條 軍需省ニ鑛務監督官及鑛務監督官補ヲ置ク

鑛務監督官ハ軍需官、軍需書記官、軍需事務官又ハ軍需技師

ヲ以テ、鑛務監督官補ハ軍需官補、軍需副又ハ軍需技手ヲ以

テ之ニ充ツ

鑛務監督官ハ上官ノ命ヲ承ケ鑛業警察（鑛山ニ於ケル勸導等

勞働生ヲ除ク）ニ關スル事務ニ從事ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

企業院官制、商工省官制、燃料局官制及物價局官制ハ之ヲ廢止

ス

本令施行ノ際現ニ企業院、商工省又ハ燃料局ノ職員ノ職ニ在ル者別ニ辭令ヲ發セラレザルトキハ企業院書記官、商工書記官及燃料局書記官ハ軍需書記官ニ、企業院事務官、商工事務官及燃料局事務官ハ軍需事務官ニ、企業院調査官ハ軍需省軍需官ニ、商工省統計官及燃料局統計官ハ軍需省統計官ニ、企業院理事官、

商工理事官及燃料局理事官ハ軍需理事官ニ、企畫院技師、新工技師及燃料局技師ハ軍需技師ニ、企畫院屬、新工屬及燃料局屬ハ軍需屬ニ、新工省統計官補及燃料局統計官補ハ軍需省統計官補ニ、企畫院技師、新工技師及燃料局技師ハ軍需技師ニ同官等俸給ヲ以テ任ゼラレタルモノトス

本令施行ノ際現ニ企畫院、新工省又ハ燃料局ノ職員ニシテ休職中ノモノ別ニ辭令ヲ發セザレザルトキハ休職ノ儘前項ノ例ニ依リ軍需省職員ニ同官等俸給ヲ以テ任ゼラレタルモノトス

昭和十三年勅令第五百四十八號中「農林省物價事務官及物價局物價事務官ハ各一ヲ「農商省物價事務官ハ」ニ改ム

企業整備本部官制

第一條 企業整備本部ハ軍需大臣ノ管理ニ屬シ企業整備ノ統轄（航空兵器工業及其ノ關聯工業ニ關スルモノ並ニ他省ノ所管ニ屬スルモノヲ除ク）及金屬類ノ回收ニ關スル事務ヲ掌ル

第二條 企業整備本部ニ左ノ職員ヲ置ク

本部長	勳任
書記官	專任一人 奏任
事務官	專任八人 奏任
回收官	專任十三人 奏任
理事官	專任一人 奏任

技師 專任四人 奏任

屬 專任十一人 判任

回收官補 專任三十三人 判任

技手 專任五人 判任

第三條 前條ノ職員ノ外軍需大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官ノ中ヨリ内閣ニ於テ回收官ヲ命ズルコトヲ得

第四條 企業整備本部ニ參與ヲ置キ部務ニ參與セシム

參與ハ軍需大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳勅任官及學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

參與ハ其ノ職務ニ關シ知得シタル祕密ヲ嚴守スベシ

第五條 企業整備本部ニ專門委員ヲ置キ回收官ノ職務ニ參與スル

專門委員ハ軍需大臣ノ奏請ニ依リ學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣

ニ於テ之ヲ命ズ

專門委員ハ其ノ職務ニ關シ知得シタル祕密ヲ嚴守スベシ

第六條 本部長ハ軍需大臣ノ指揮監督ヲ承ケ部務ヲ統理シ部下ノ

職員ヲ指揮監督シ判任官以下ノ進退ヲ專行ス

第七條 書記官、^{及理事官}事務官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

第八條 回收官ハ上官ノ命ヲ承ケ金融類ノ回收ニ關スル事務ヲ掌

ル

第九條 技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第十條 屬ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第十一條 回收官補ハ上官ノ指揮ヲ承ケ金屬類ノ回收ニ關スル事務ニ從事ス

第十二條 技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

金屬回收本部官制ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際現ニ金屬回收本部職員ノ職ニ在ル者別ニ辭令ヲ發セラレザルトキハ金屬回收本部回收官ハ企業整備本部回收官ニ、金屬回收本部回收官補ハ企業整備本部回收官補ニ同官等俸給ヲ以テ任ゼラレタルモノトス

本令施行ノ際現ニ金屬回收本部職員ニシテ休職中ノモノ別ニ辭令ヲ發セラレザルトキハ企業整備本部回收官ハ企業整備本部回收官ニ、金屬回收本部回收官補ハ企業整備本部回收官補ニ同官等俸給ヲ以テ任ゼラレタルモノトス

ハ各其ノ職務ニ必要ナル學識經驗ヲ有スル者ノ中ヨリ高等試験委員
ノ銓衡ヲ經テ特ニ之ヲ任用スルコトヲ得

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十二年勅令第六百一十一號、昭和十四年勅令第三百九十四號、昭
和十六年勅令第四百十八號及昭和十八年勅令第七七十二號ハ之ヲ廢
止ス

十六日、廿五日、廿四日、十八日、廿五日、初十日、十八日、廿一日、廿二日、廿三日、廿四日、廿五日、廿六日、廿七日、廿八日、廿九日、三十日、

目下樞密院ニ御諮詢中ノ企業整
 備本部官制中別紙ノ通訂正致度

内
 閣

本館中係於通信手段
自不詳密測之喉嚨中全業

(別紙)

第七條中「書記官及事務官」ヲ「書記官、事務官及理事官」ト訂正

内

閣